

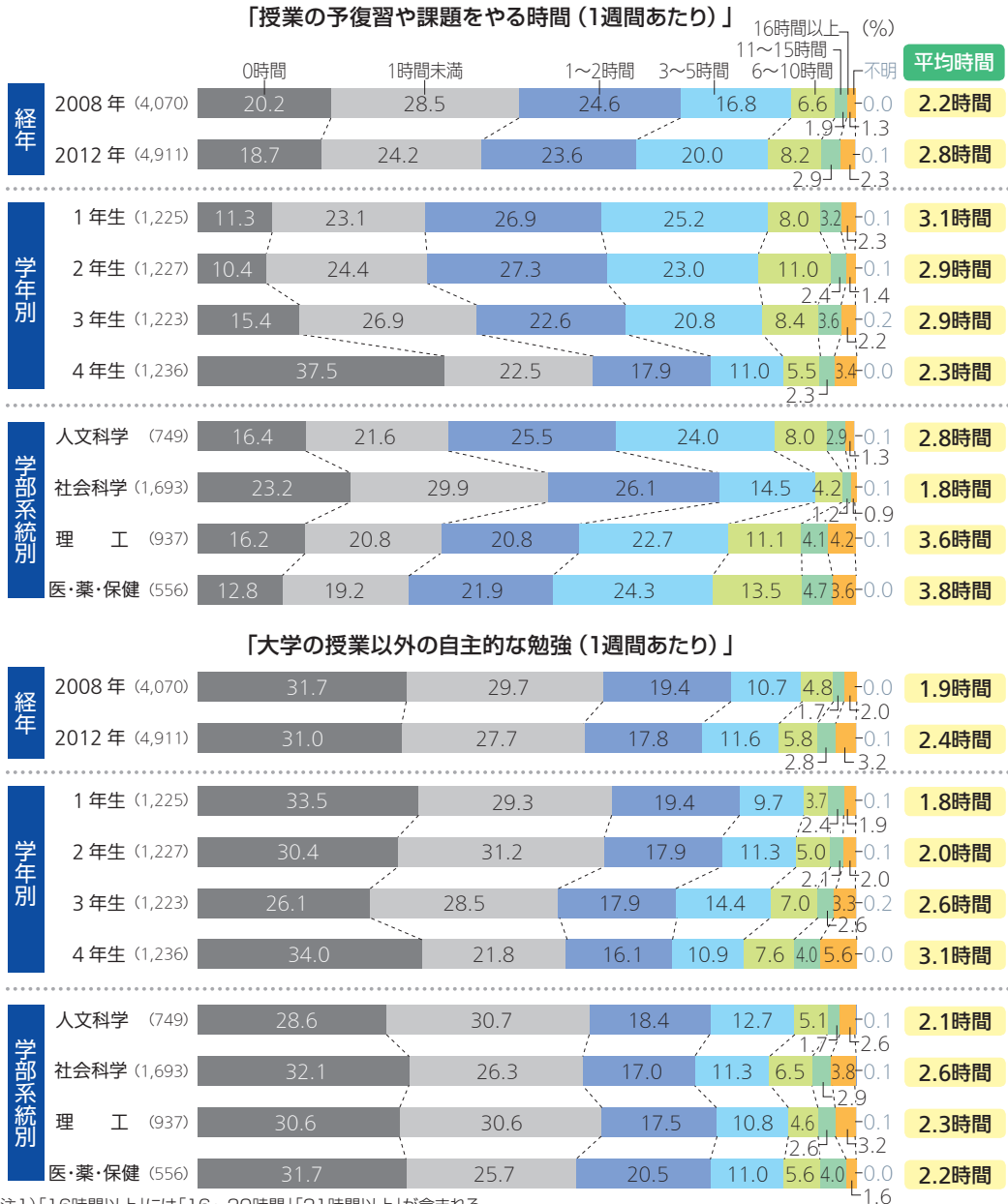
授業の予復習や課題をやる時間が微増

「授業の予復習や課題」を1週間あたり「1～2時間」以上している割合（「1～2時間」～「16時間以上」の合計値、以下同）は全体で2008年51.2%→2012年57.0%と5.8ポイント増加。平均時間でみると2.2時間→2.8時間となった。学年別には履修科目数の少なくなる4年生で時間が少なく、学部系統別では「社会科学」系統で「1時間未満」（「1時間未満」+「0時間」）が5割を超える。一方、「大学の授業以外の自主的な勉強」については、経年での変化はみられず、学年別には高学年になると平均時間は若干増加する。



ふだんの時間の過ごし方について、次の項目は1週間（月曜日～日曜日）で何時間くらいになりますか。今学期の平均的な1週間を振り返って、それぞれについてあてはまるもの1つをお選びください。

図12 大学の授業以外の1週間あたりの学習時間（経年比較・学年別・学部系統別）



注1)「16時間以上」には「16～20時間」「21時間以上」が含まれる。

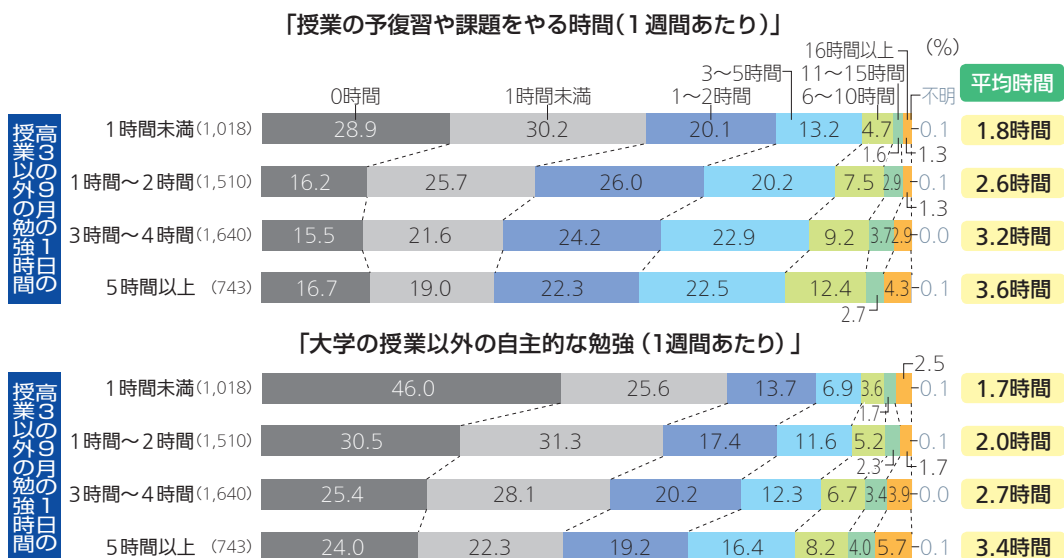
注2)平均時間は、「0時間」を0、「1時間未満」を0.5、「1～2時間」を1.5…と各選択肢の中央値で置き換えた上で算出している（不明は除く）。

注3)学部系統別の比較はサンプル数の多い4学部系統とし、その他は省略している。

高校時代に勉強していた層も、大学では授業以外の学習時間が少なくなる

高校時代と大学での授業以外の学習時間を比較すると、高校時代に1日「5時間以上」勉強していた層も、大学での「授業の予復習や課題をやる時間」は1週間あたり1時間未満が35.7%（「0時間」+「1時間未満」、以下同）、「授業以外の自主的な勉強」は46.3%と学習時間は減少する。同様に高校時代の勉強の様子をたずねた質問でも、高校時代に予復習をしていたと回答した層（「図14の「あてはまる群」」）も大学で「授業の予復習や課題をやる時間」は1時間未満が約3分の1、「授業以外の自主的な勉強」は約5割が1時間未満である。

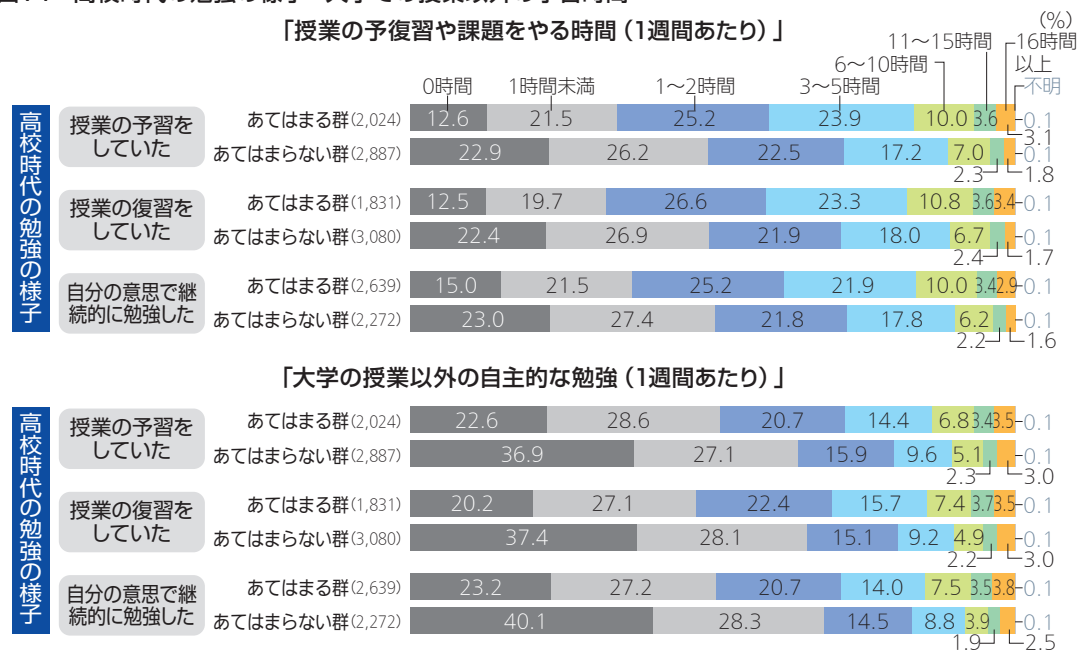
図13 高校時代の授業以外の勉強時間×大学での授業以外の学習時間



注1) 高校時代の勉強時間は1日あたりの時間、大学時代の学習時間は1週間あたりの時間を表す。

注2) 平均時間は、「0時間」を0、「1時間未満」を0.5、「1~2時間」を1.5...と各選択肢の中央値に置き換えた上で算出している(不明は除く)。

図14 高校時代の勉強の様子×大学での授業以外の学習時間



注) 高校時代の勉強の様子は、「高校の時の学校や家での勉強の様子」としてたずねたもの。「あてはまる群」は「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した人、「あてはまらない群」は「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」と回答した人を表す。